

平成 29年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立日田支援学校

前年度評価結果の概要
重点目標1 ○ PATHの技法を取り入れた支援ミーティングは対象の児童生徒に実施できている。また、ミーティングを実施して明らかになった指導内容について、個別の指導計画に位置づける手順についても確立できた。
重点目標2 ○ 授業力自己診断シートを活用して自己の指導力を振り返り、授業づくりミーティングにより個々の課題を改善するとともに、教材・教具についても工夫改善が成され、教育の質の向上につなげることができた。
重点目標3 ○ 県西部の特別支援教育の充実と災害時を想定して取り組んだ防災対策については、災害時の一斉メールの整備や防災マップの完成等一定の成果を上げることができた。

学校教育目標 中期目標 重点目標
(1)キャリア発達を踏まえ、卒業後を見据えた「自分らしく生き抜く力」の育成
(2)学び合い、高め合う教員組織の構築と授業改善
(3)保護者・地域・関連機関とのさらなる連携強化と安心・安全な学校づくり

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

Table with 10 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL/SL, 評価, 自己評価結果(分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed data for three main goals: (1) Career development, (2) Teacher collaboration, and (3) Community partnership.

総合評価 次年度への展望
重点目標1: 支援者ミーティング(PATHの技法を用いた)により児童生徒の夢実現に向けた関係機関との連携、個別の指導計画への反映が本校では定着が図られた。また、高等部生徒の最近接領域の課題について、学校、保護者と共有して進路指導に取り組んでいく必要がある。
重点目標2: 新学習指導要領に基づいた国語科の内容について段階を互いに学びながら作成し、授業改善に活かすことができた。今後は教員一人一人の専門性の向上に向け互いに高めていくための教員組織の構築を行ってきたい。
重点目標3: 県西部の特別支援教育の充実に向けた取り組みが充実してきた。また、緊急時の本部組織の動態表や緊急時のマニュアル、医薬品など個別データの確認など校内で確立できた。また、地域防災に向けた地域との連携についても話し合いが進んでいる。今後は、引き続きコーディネーターの継承、特別支援学級の充実などに取り組んでいくとともに、災害時全職員で災害に対する防災体制づくりと地域との連携を構築したいと考える。